

対象年度	平成31年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート				
事務事業名	地域子育て支援センター運営事業					予算事業名	地域子育て支援センター運営事業費
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分
			03	02	04	2201	経常経費
総合計画体系	1ともに支えあい、安心して暮らせる社会福祉の充実(保健・福祉)					事業の区分	主要事業
	1-3安心して子育てできる児童福祉の充実(児童福祉)						重点事業
	③子育て家庭への支援					担当課係等	子ども福祉課
	2子育て支援拠点の充実						保育係
事業期間	継続 (平成17年度～平成32年度)						
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】				【事業開始のきっかけや他市の状況など】			
・孤立しがちな育児を地域とともに子育てできる環境とし、育児負担を軽減する。				民間施設においても同事業を実施			
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】				【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】			
結城市子育て支援センター(公立)の運営 開設日 月曜日～金曜日または火曜日～土曜日 開設時間 9:00～12:00 14:30～16:30				未就園児及びその保護者			
				【事業をとりまく環境の変化】 ・核家族化の増加や地域の人間関係の希薄化により育児に関する相談相手が減少している。			
【平成31年度 事業内容】			【平成32年度 事業内容】			【平成33年度 事業内容】	
<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援の情報提供 子育てに関する相談事業 親子で参加する活動、イベントの開催 子育てサークルへの支援 			<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援の情報提供 子育てに関する相談事業 親子で参加する活動、イベントの開催 子育てサークルへの支援 			<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援の情報提供 子育てに関する相談事業 親子で参加する活動、イベントの開催 子育てサークルへの支援 	
備品購入 テーブルワゴン等			備品購入 リバロベンチ等				
■事業費							
財源内訳			H29年度	H30年度			
	国	庫	支出金	2,601	2,614		
	県		支出金	2,601	2,614		
	地	方	債	0	0		
	そ	の	他	0	0		
一般財源			3,140	3,127			
歳入計(千円)			8,342	8,355			
歳出内訳	節(番号+名称)		金額(千円)	金額(千円)			
	07	賃金	7,534	7,534			
	08	報償費	194	186			
	09	旅費	4	4			
	11	需用費	468	453			
	12	役員費	72	74			
	13	委託料	24	24			
	14	使用料及び賃借料	13	13			
	18	備品購入費	26	60			
	19	負担金補助及び交付金	7	7			
歳出計(千円)(A)			8,342	8,355			
伸び率(%)				0.15			
備考	総合計画 58ページ 予算書 91ページ						

平成29年度行政評価シート

■指標

種類	指標名	単位		H29年度	H30年度	H31年度
活動 指標	企画遊び	回	目標	40.00	40.00	40.00
			実績	41.00	0.00	0.00
	サークル数	件	目標	4.00	4.00	4.00
			実績	1.00	0.00	0.00
成果 指標	登録者数	人	目標	900.00	900.00	900.00
			実績	821.00	0.00	0.00
	相談件数	件	目標	3,000.00	3,000.00	3,000.00
			実績	2,753.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	核家族化の増加や地域の人間関係の希薄化により育児に関する相談相手が減少している中で、相談や情報交換の場の提供ができる。
妥当性	実施主体の妥当性	B どちらとも言えない	民間施設でも設置可能
	手段の妥当性	A 妥当である	子育て支援の情報提供及び相談業務を行う場所、また児童及びその保護者が集う場所として妥当である。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	保育所との併設の検討の余地あり
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	概ね成果は達成されている。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	概ね成果は達成されている

総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください

みくに子育て支援センターが自主事業となり、結城市子育て支援センターの役割はさらに大きくなる見込み。民間保育園では、保育士不足により、子育て支援事業に保育士を確保することが難しくなっている。そのような状況のなか、公立の存在は重要である。

対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか

■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））

拡充（人・モノ・カネ等の拡充） 改善改革しながら継続 現状のまま継続（改善・改革なし） 統合・新規事業への展開
 縮小 休止 廃止・終了 予定どおりの要求 一部改善の上要求 今回は見送り その他の処置

改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画）

保育所併設の子育て支援センターが多い中、単独実施の強みを生かし保護者に寄り添う運営を目指す必要がある。また、児童虐待防止にも務めていく。

2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））

拡充（人・モノ・カネ等の拡充） 改善改革しながら継続 現状のまま継続（改善・改革なし） 統合・新規事業への展開
 縮小 休止 廃止・終了 予定どおりの要求 一部改善の上要求 今回は見送り その他の処置

企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入）

上記評価のとおり。